

児発

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所 お〜らい		公表日		令和8年3月13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	1階と2階があり児童の状況に応じて部屋を分け支援している。 人数に応じて、施設の利用の仕方も検討されている。 絵本コーナー、おもちゃコーナー、体を動かす部屋等環境が整っている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	93%	7%	個別の対応もできる(特性の強い子)人的環境にある		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	トイレなどの扉に場所の表記をし、わかりやすしたりトイレ内の壁に手すりを設置している 子どもや職員の配置に基づき、徐々に行われている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	93%	7%	玩具ごとにコーナーで分けたり、片付けやすそうに配慮されていると思う。 遊べる環境をその都度工夫し改善を行なっている 毎日清掃し心地よく過ごせるように配慮しています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	87%	13%	必要に応じて、空間を仕切って安心できる空間づくりを行なっている。	午睡やクールダウンなどに使用する場所はあるが部屋があると良いと感じるスペースの有無の関係で難しい時がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	93%	7%	定期的に改善のための会議を行なっている 毎朝のミーティングや月に1~2回の会議を通して業務改善に繋げている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	茶話会やイベント等で保護者に聞き取りを行なっている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	93%	7%	月に1度ミーティングを実施しており、意見を出し合い業務改善に活かしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	73%	20%		2年目以降は必要と感じる。まだ開所したばかりで、改善には繋がっていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修への参加やミーティング内で支援に関する情報を確認する時間を設けている	人数制限のある研修もあるので希望する人が全員受講できると嬉しいです	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	87%	13%	ホームページで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	93%	7%	普段見ている指導員への声掛けや聞き取りを行なっている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	87%	13%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	93%	0%	標準化ツールの代わりとして、日々の行動観察によるインフォーマルなアセスメントを重視。 サービス提供記録に残し、支援計画に反映している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	中心になる職員が立案することが多いが、他の職員の意見も踏まえて決定している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	93%	0%	専門的支援を行なっている児童が増えている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	93%	7%	朝にミーティングを行い内容をノートに記録し職員全体で情報を共有できるようにしている 朝のミーティングで打ち合わせし、役割分担を行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	87%	7%	その日はなかなか難しいと思うが、行事後など会議で反省点を挙げている。 終了後や朝会、SNSでの共有 帰りまたは翌朝に振り返りをし、児童の様子等共有している 毎回はできていないが、気づいた点を話し合う場を設けている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	87%	7%	サービス提供内容や1日の様子などを記録し、全職員が確認できるようにしている 必ずサービス提供記録を残し、今後の支援に繋げている 徹底とまでは言えないが日々の記録をとっている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	93%	7%		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管が行い、必要に応じて担当者に聞き取りを行なっている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	保育園や幼稚園への見学を行なっている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	87%	7%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	13%		学校との間での情報共有はあまりなされていないと思う 移行に関してはこれから対応するが、情報共有は行なっていきたいと思う。 全小学校との間での共有とは至っていない。難しい学校もある。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	対象外	対象外	対象外	対象外
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	対象外	対象外	対象外	対象外
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	対象外	対象外	対象外	対象外
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	80%	0%		これから取り組みを開始する
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	67%	13%	公園等に積極的に出掛けしている	一部できている。これからさらに機会を増やしていきたい。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	サービス提供記録の中で、状況や課題について伝え合いその内容を全職員で共有している 送迎時やLINEでの連絡を活用している 送迎の際に話すよう心がけています。信頼関係を築いていけるように努めます。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	93%	0%		年に数回保護者への情報提供等の環境を整える予定
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	93%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	93%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	93%	0%		向上心を持ち専門的知見をさらに深め、お子さんの特性をより多面的に捉えられるように努めます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	93%	7%	家族で参加できるイベントを開催し交流する機会を設けている	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	管理者を通して丁寧に対応できるよう努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月に1回の通信の発行や毎日のInstagramの更新で子どもたちの様子を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	20%		まだ地域住民との参加型のイベントを設定していない 未実施ではあるが今後検討したい これから地域とのつながりを持ち、子どもたちを共に見守る環境を目指したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	定期的に訓練を実施しHUGで周知している	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	93%	0%	定期的に訓練を実施しており、安全管理に努めている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこのどもの状況を確認しているか。	100%	0%	必要に応じ、看護師との情報共有を行う	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	73%	20%	おやつ提供時に気をつけ、確認するようにしている	指示書が必要なアレルギー症状の利用者は現在いないが、今後契約時には対応する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	93%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%			